

「新・群馬県総合計画」アップデートに係る県民からの意見聴取結果

実施内容

- ・県政重要課題アンケート
- ・アンケートフォーム
- ・PoliPoliGov

集計期間

令和7年10月16日(木)～11月23日(日)

集計件数

3,139件

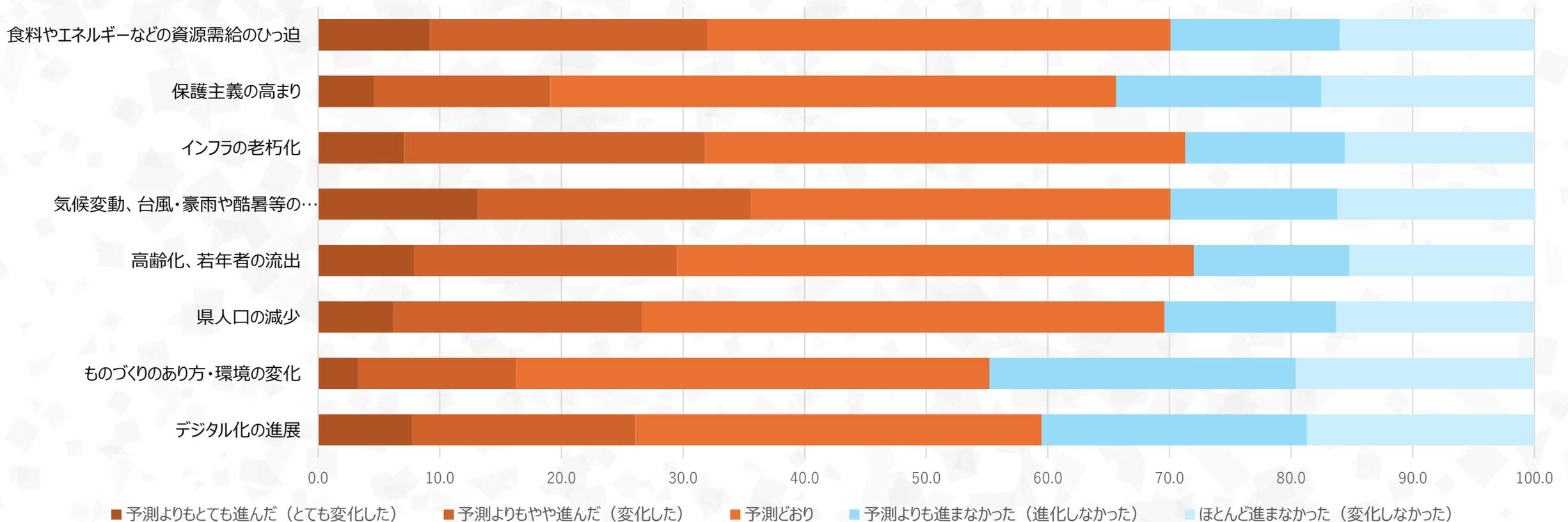
意見聴取内容

項目	内容
① 策定時の変化の見通しがどの程度変化したか	<ol style="list-style-type: none">1. デジタル化の進展2. ものづくりのあり方・環境の変化3. 県人口の減少4. 高齢化、若年者の流出5. 気候変動、台風・豪雨や酷暑等の自然災害が増加6. インフラの老朽化7. 保護主義の高まり8. 食料やエネルギーなどの資源需給のひっ迫
② 今後の変化の見通しはどうか	<ol style="list-style-type: none">1. デフレからインフレへの変化2. DXからAIのフェーズ移行3. 外国籍住民との共生・相互理解4. サーキュラリティ・自然資本という概念の一般化5. 反グローバリズム6. エンターテインメント産業の成長7. その他
③ 目指すべき姿	<ol style="list-style-type: none">1. 2040年の群馬県が目指すべき姿

「新・群馬県総合計画」アップデートに係る県民からの意見聴取結果

<① 策定時の変化の見通し>

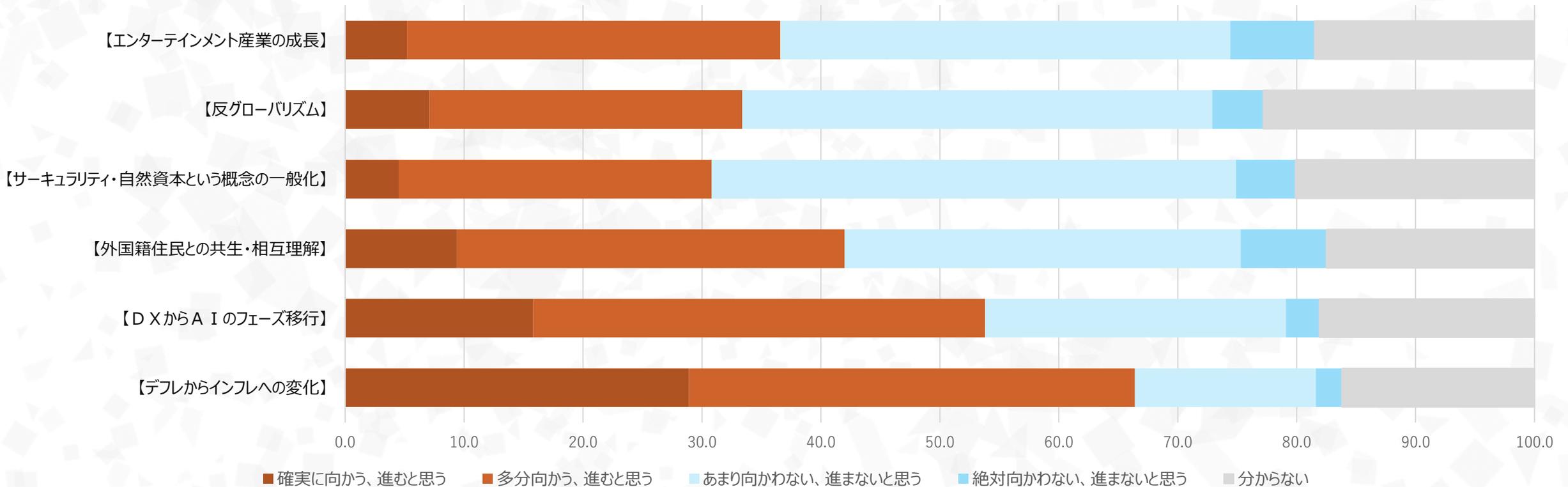
- ・ 策定時の見通しは、いずれの項目も**半数以上**が予測どおりと受け止め
- ・ 気候変動・自然災害の増加、インフラの老朽化、資源需要のひっ迫では、**3割以上**が予測よりも進んだと受け止め



「新・群馬県総合計画」アップデートに係る県民からの意見聴取結果

<② 今後の変化の見通し>

- ・ **過半数**を超えたものは、インフレへの変化と、AIへのフェーズ移行
- ・ 低いものでも、**3割以上**の県民が見通しに妥当性を感じている



「新・群馬県総合計画」アップデートに係る県民からの意見聴取結果

<② 今後の変化の見通し>

- ・自由記述では、少子高齢化、人口の自然減、移住者の増加、外国人の増加、外国人による犯罪の増加、治安の悪化、過疎化の進行、企業・工場の移転・進出等の意見を確認。

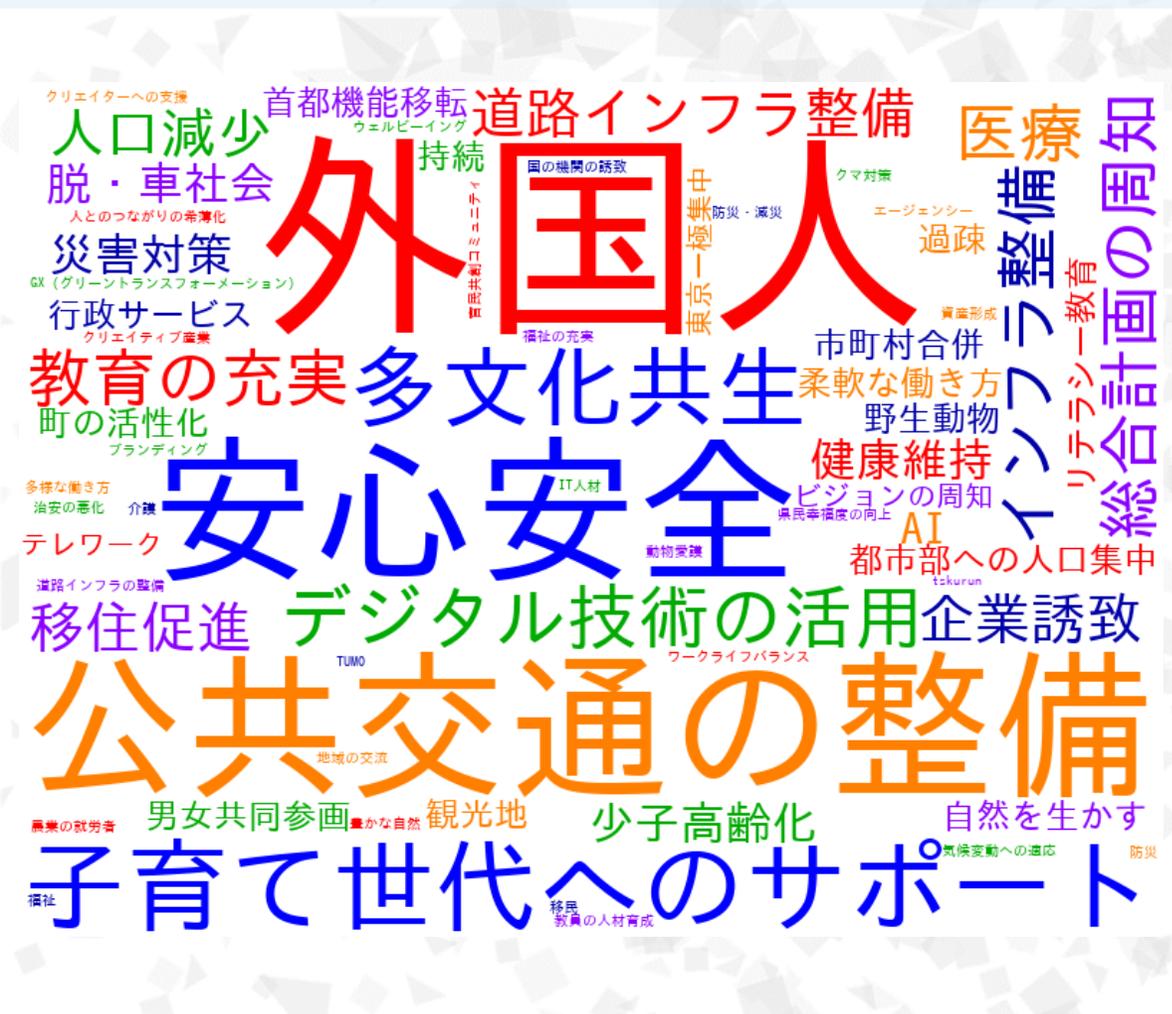
人口関係 416件	<少子高齢化> 高齢化：105件、少子化：47件 <自然増減> 減少：141件 、増加：19件 <社会増減> 減少：21件、 増加：103件 、 その他：移住者増加のブームの終焉、人口分布の偏り拡大等
外国人関係 186件	<外国人> 増加（居住者、労働者、観光客等）：137件 減少：2件 その他： 外国人による犯罪の増加、治安の悪化：31件 外国人とのトラブル増加、外国人との共存・共生等
生活全般 236件	<生活> 物価の上昇、人とのつながりの希薄化、モラルの低下等 <交通> 高齢ドライバーの増加、公共交通機関の衰退等 <技術> デジタル化、AIの活用の増加、IoT化の進展等 <治安> 治安の悪化、犯罪の増加等
まちづくり関係 204件	<地域格差> 過疎化の進行：45件 、都市部への一極集中、 人口過密地と過疎地の二極化等 <空き家> 空き家の増加・深刻化等

健康・医療・ 福祉関係 34件	<医療> 医療機関不足、医療費の増大等 <介護・孤立> 介護施設の需要増加、住民の孤立化の進行等 <格差> 貧富の差の拡大、生活困窮家庭の増加等
環境関係 63件	<気候・生態系の変化> 気温上昇、猛暑が強まる、植生の変化等 <自然・災害> 自然災害の増加、自然の減少・破壊、 自然との共存問題、人への獣害（クマ）の増加等
農業・林業 関係 44件	<農家・農業> 農家の減少、農業の大型化、農業法人の増加等 <農地・山林> 農村・森林の放棄・荒廃、農地の減少等 <獣害> 鳥獣害の拡大・深刻化、鳥獣害の増加等
産業経済関係 113件	<企業移転・進出> 企業・工場の移転・進出：22件 <労働者> 外国人労働者の増加、人手不足等 <賃金> 賃金の上昇、給料は上がらない等 <経済> 企業格差の拡大、企業倒産の増加等
観光・エンタメ 関係 32件	<観光客> 観光客の増加、インバウンドの増加等 <エンタメ・コンテンツ> ぐんまちゃんの活躍、アニメ関連のにぎわい等

「新・群馬県総合計画」アップデートに係る県民からの意見聴取結果

＜③ 目指すべき姿＞

- ・ 外国人・多文化共生、公共交通の整備・安心安全、子育て世代へのサポート といった意見が多かった。



	コメント概要
外国人	・外国人の増加による治安悪化に懸念。
多文化共生	・地域のイベントなど様々な国籍の人が一体感を持ち、群馬の良さや文化を理解する機会があるとよい。交流だけでなく、様々な国の外資系企業を誘致し、地元住民と多様な国籍の人が共に働くような多国籍企業が最も多い先進的な県として実現すると素晴らしい。 ・子どもの頃から群馬に愛着をもち、多様性を認め合いつつ、群馬の経済的発展を支える一員になって頂きたい。
安心安全 公共交通の整備	・公共交通などのインフラも整備され、災害に強く、安心安全に暮らせるようになって欲しい。
子育て世代へのサポート	・子供を通じて、地区行事への参加機会が増えていることから、子育て世代が地域の輪をつなげ、経済活性化に繋がられる。 ・群馬県には、国に先立って【子育て先進地】として、子育てしやすい環境づくりや施策を積極的に考えていただきたい。
移住・人口減少	・少子高齢化社会の中、地方行政として生き残るには若年層（子育て世帯）の呼び込みが重要。
デジタル関係	・クリエイティブ産業の活性化や人材育成に力を入れて欲しい。 ・TUMO、tsukurunを単なるこどもの居場所づくりとして捉えられないよう、始動人育成につながるという本当の意図が伝わるようになってほしい。